

【表紙】

| | |
|------------|--------------------------------------|
| 【提出書類】 | 四半期報告書 |
| 【根拠条文】 | 金融商品取引法第24条の4の7第1項 |
| 【提出先】 | 九州財務局長 |
| 【提出日】 | 2019年5月13日 |
| 【四半期会計期間】 | 第22期第3四半期（自 2019年1月1日 至 2019年3月31日） |
| 【会社名】 | 株式会社 Lib Work |
| 【英訳名】 | Lib Work Co.,Ltd. |
| 【代表者の役職氏名】 | 代表取締役社長 瀬口 力 |
| 【本店の所在の場所】 | 熊本県山鹿市鍋田178番地1 |
| 【電話番号】 | (0968) 44 - 3559 (代表) |
| 【事務連絡者氏名】 | 取締役管理部長 櫻井 昭生 |
| 【最寄りの連絡場所】 | 熊本県山鹿市鍋田178番地1 |
| 【電話番号】 | (0968) 44 - 3559 (代表) |
| 【事務連絡者氏名】 | 取締役管理部長 櫻井 昭生 |
| 【縦覧に供する場所】 | 証券会員制法人福岡証券取引所 (福岡市中央区天神二丁目14番2号) |

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

| 回次 | 第21期 第3四半期累計期間 | 第22期 第3四半期累計期間 | 第21期 |
|----------------------------|---------------------------|---------------------------|---------------------------|
| 会計期間 | 自2017年7月1日 至2018年3月31日 | 自2018年7月1日 至2019年3月31日 | 自2017年7月1日 至2018年6月30日 |
| 売上高 (千円) | 3,580,193 | 4,504,901 | 5,104,871 |
| 経常利益 (千円) | 238,703 | 338,323 | 371,333 |
| 四半期(当期)純利益 (千円) | 156,907 | 225,963 | 254,866 |
| 持分法を適用した場合の投資利益 (千円) | - | - | - |
| 資本金 (千円) | 256,909 | 256,909 | 256,909 |
| 発行済株式総数 (株) | 2,527,000 | 2,527,000 | 2,527,000 |
| 純資産額 (千円) | 1,368,348 | 1,637,941 | 1,466,307 |
| 総資産額 (千円) | 2,762,399 | 3,307,259 | 2,872,793 |
| 1株当たり四半期(当期)純利益 (円) | 62.09 | 89.42 | 100.86 |
| 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益 (円) | 62.05 | 89.25 | 100.68 |
| 1株当たり配当額 (円) | 15.00 | 17.50 | 25.00 |
| 自己資本比率 (%) | 49.5 | 49.5 | 51.0 |

| 回次 | 第21期 第3四半期会計期間 | 第22期 第3四半期会計期間 |
|-----------------|---------------------------|---------------------------|
| 会計期間 | 自2018年1月1日 至2018年3月31日 | 自2019年1月1日 至2019年3月31日 |
| 1株当たり四半期純利益 (円) | 15.48 | 13.70 |

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりませんので、連結会計年度に係る主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 持分法を適用した場合の投資利益については、関連会社がありませんので記載しておりません。
4. 当社は、2018年1月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期(当期)純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益を算定しております。

2【事業の内容】

当第3四半期累計期間において、当社が営む事業の内容について、重要な変更はありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第3四半期累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、又は、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

2【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期会計期間の末日現在において判断したものであります。

なお、当社は戸建住宅事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

(1) 財政状態及び経営成績

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、通商問題の動向が世界経済に与える影響や海外経済の動向と政策に関する不確実性および金融資本市場の変動の影響に留意する必要がある一方で、企業収益や雇用・所得環境の改善が継続しており、緩やかな景気回復が続きました。

住宅業界におきましては、政府によるマイナス金利政策における低金利の住宅ローンをはじめ、各種住宅取得支援策等が継続しており、全国の持家の着工数はやや持ち直してきております。国土交通省公表の全国の新設住宅着工数(持家)は、2019年1月度は前年同月比で3.3%増、同年2月度は前年同月比で9.9%増、同年3月度は前年同月比で8.9%増という推移となり、持家は6か月連続の増加となりました。同様に当社の主要販売エリアとなる熊本県においては、2019年1月度は同年前月比で6.3%減、同年2月度は前年同月比で2.3%減、同年3月度は前年同月比で20.5%減となり、前年同月比で減少してはおりますが、地震発生前と比較すると依然高い水準のまま推移しております。

このような環境のなか、当社は独自のビジネスモデルとしてWeb集客を強化しておりますが、当第3四半期累計期間は前年同四半期比で32.4%増と堅調に推移しました。また熊本県で人口増加の著しい合志市において38区画の用地仕入れをおこないました。加えて2019年10月から予定されている10%への消費税率引き上げに伴い、駆け込み需要への積極的な受注対応をおこないました。その他、沖縄県宮古島市にて新たにアパート建築を2棟受注いたしました。

以上の結果、当第3四半期累計期間の業績は、売上高は4,504,901千円(前年同四半期比25.8%増)、営業利益304,085千円(前年同四半期比44.5%増)、経常利益338,323千円(前年同四半期比41.7%増)、四半期純利益225,963千円(前年同四半期比44.0%増)となり、売上高、各利益ともに第3四半期累計期間としては過去最高となりました。

(2) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期累計期間において、当社の事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(3) 研究開発活動

該当事項はありません。

3 【経営上の重要な契約等】

当第3四半期会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

| 種類 | 発行可能株式総数(株) |
|------|-------------|
| 普通株式 | 8,000,000 |
| 計 | 8,000,000 |

【発行済株式】

| 種類 | 第3四半期会計期間末現在発行数(株) (2019年3月31日) | 提出日現在発行数(株) (2019年5月13日) | 上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名 | 内容 |
|------|------------------------------------|-----------------------------|------------------------------------|---|
| 普通株式 | 2,527,000 | 2,527,000 | 福岡証券取引所 (Q-Board市場) | 完全議決権株式であり、権利内容に何ら限定のない当社における標準の株式であります。また、単元株式数は100株であります。 |
| 計 | 2,527,000 | 2,527,000 | - | - |

(2)【新株予約権等の状況】

【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【発行済株式総数、資本金等の推移】

| 年月日 | 発行済株式総 数増減数 (株) | 発行済株式総 数残高(株) | 資本金増減額 (千円) | 資本金残高 (千円) | 資本準備金増 減額 (千円) | 資本準備金残 高(千円) |
|--------------------------|-----------------------|------------------|----------------|---------------|----------------------|-----------------|
| 2019年1月1日～ 2019年3月31日 | - | 2,527,000 | - | 256,909 | - | 139,659 |

(5)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(6) 【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（2018年12月31日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

2019年3月31日現在

| 区分 | 株式数(株) | 議決権の数(個) | 内容 |
|----------------|----------------|----------|--|
| 無議決権株式 | - | - | - |
| 議決権制限株式(自己株式等) | - | - | - |
| 議決権制限株式(その他) | - | - | - |
| 完全議決権株式(自己株式等) | - | - | - |
| 完全議決権株式(その他) | 普通株式 2,527,000 | 25,270 | 権利内容に何ら限定のない当社における標準の株式であります。また、単元株式数は100株であります。 |
| 単元未満株式 | - | - | - |
| 発行済株式総数 | 2,527,000 | - | - |
| 総株主の議決権 | - | 25,270 | - |

【自己株式等】

2019年3月31日現在

| 所有者の氏名又は名称 | 所有者の住所 | 自己名義所有株式数(株) | 他人名義所有株式数(株) | 所有株式数の合計(株) | 発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%) |
|------------|--------|--------------|--------------|-------------|------------------------|
| - | - | - | - | - | - |
| 計 | - | - | - | - | - |

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期財務諸表の作成方法について

当社の四半期財務諸表は、「四半期財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第63号）に基づき、同規則及び「建設業法施行規則」（昭和24年建設省令第14号）により作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期会計期間（2019年1月1日から2019年3月31日まで）及び第3四半期累計期間（2018年7月1日から2019年3月31日まで）に係る四半期財務諸表について、三優監査法人による四半期レビューを受けております。

3．四半期連結財務諸表について

当社は子会社がありませんので、四半期連結財務諸表を作成しておりません。

1【四半期財務諸表】

(1)【四半期貸借対照表】

(単位：千円)

| | 前事業年度 (2018年6月30日) | 当第3四半期会計期間 (2019年3月31日) |
|--------------|-----------------------|----------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 1,147,824 | 1,031,892 |
| 完成工事未収入金 | 9,158 | 16 |
| 売掛金 | 1,147 | 1,035 |
| 有価証券 | 50,000 | - |
| 未成工事支出金 | 433,574 | 520,847 |
| 販売用不動産 | 119,386 | 281,234 |
| 仕掛販売用不動産 | 517,601 | 952,862 |
| 原材料及び貯蔵品 | 5,002 | 4,217 |
| 未収還付法人税等 | 139 | - |
| その他 | 116,067 | 85,232 |
| 流動資産合計 | 2,399,903 | 2,877,339 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | 369,349 | 334,340 |
| 無形固定資産 | 13,655 | 11,872 |
| 投資その他の資産 | 289,885 | 283,707 |
| 固定資産合計 | 472,890 | 429,920 |
| 資産合計 | 2,872,793 | 3,307,259 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 工事未払金 | 402,988 | 422,078 |
| 1年内償還予定の社債 | - | 50,000 |
| 短期借入金 | - | 100,000 |
| 未払法人税等 | 83,055 | 60,799 |
| 未成工事受入金 | 486,882 | 613,584 |
| その他 | 278,097 | 311,517 |
| 流動負債合計 | 1,251,024 | 1,557,979 |
| 固定負債 | | |
| 社債 | 50,000 | - |
| 資産除去債務 | 3,300 | 4,770 |
| 退職給付引当金 | 1,683 | 1,906 |
| 役員退職慰労引当金 | 83,976 | 85,561 |
| 完成工事補償引当金 | 16,502 | 19,101 |
| 固定負債合計 | 155,462 | 111,338 |
| 負債合計 | 1,406,486 | 1,669,317 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 256,909 | 256,909 |
| 資本剰余金 | 139,659 | 139,659 |
| 利益剰余金 | 1,069,738 | 1,241,371 |
| 株主資本合計 | 1,466,307 | 1,637,941 |
| 純資産合計 | 1,466,307 | 1,637,941 |
| 負債純資産合計 | 2,872,793 | 3,307,259 |

(2)【四半期損益計算書】

【第3四半期累計期間】

(単位：千円)

| | 前第3四半期累計期間 (自 2017年7月1日 至 2018年3月31日) | 当第3四半期累計期間 (自 2018年7月1日 至 2019年3月31日) |
|--------------|---|---|
| 売上高 | 3,580,193 | 4,504,901 |
| 売上原価 | 2,667,460 | 3,293,078 |
| 売上総利益 | 912,732 | 1,211,822 |
| 販売費及び一般管理費 | 702,304 | 907,737 |
| 営業利益 | 210,427 | 304,085 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 240 | 94 |
| 受取手数料 | 20,673 | 21,411 |
| その他 | 7,584 | 12,965 |
| 営業外収益合計 | 28,499 | 34,472 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | - | 10 |
| 社債利息 | 110 | 110 |
| 社債保証料 | 112 | 112 |
| 営業外費用合計 | 223 | 234 |
| 経常利益 | 238,703 | 338,323 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 38 | 12,184 |
| 特別利益合計 | 38 | 12,184 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除却損 | 705 | - |
| 特別損失合計 | 705 | - |
| 税引前四半期純利益 | 238,035 | 350,508 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 73,996 | 118,647 |
| 法人税等調整額 | 7,131 | 5,896 |
| 法人税等合計 | 81,128 | 124,544 |
| 四半期純利益 | 156,907 | 225,963 |

【注記事項】

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示しております。

(四半期貸借対照表関係)

1 保証債務

住宅ローン利用者に対する金融機関の融資について保証を行っております。(住宅ローン実行までの金融機関からのつなぎ融資に対する保証)

| | 前事業年度 (2018年6月30日) | 当第3四半期会計期間 (2019年3月31日) |
|----------------|-----------------------|----------------------------|
| 住宅ローン利用者に対する保証 | 72,000千円 | 294,256千円 |
| 計 | 72,000 | 294,256 |

2 資産の金額から直接控除している貸倒引当金の額

| | 前事業年度 (2018年6月30日) | 当第3四半期会計期間 (2019年3月31日) |
|----------|-----------------------|----------------------------|
| 投資その他の資産 | 500千円 | 500千円 |

(四半期キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

| | 前第3四半期累計期間 (自 2017年7月1日 至 2018年3月31日) | 当第3四半期累計期間 (自 2018年7月1日 至 2019年3月31日) |
|-------|---|---|
| 減価償却費 | 17,299千円 | 26,426千円 |

(株主資本等関係)

前第3四半期累計期間(自 2017年7月1日 至 2018年3月31日)

1. 配当金支払額

| (決議) | 株式の種類 | 配当金の総額 (千円) | 配当の原資 | 1株当たり 配当額 (円) | 基準日 | 効力発生日 |
|----------------------|-------|----------------|-------|---------------------|-------------|------------|
| 2017年9月26日 定時株主総会 | 普通株式 | 25,270 | 利益剰余金 | 20.00 | 2017年6月30日 | 2017年9月27日 |
| 2018年2月9日 取締役会 | 普通株式 | 18,952 | 利益剰余金 | 15.00 | 2017年12月31日 | 2018年3月9日 |

2. 株主資本の金額の著しい変動

該当事項はありません。

当第3四半期累計期間(自 2018年7月1日 至 2019年3月31日)

1. 配当金支払額

| (決議) | 株式の種類 | 配当金の総額 (千円) | 配当の原資 | 1株当たり 配当額 (円) | 基準日 | 効力発生日 |
|----------------------|-------|----------------|-------|---------------------|-------------|-------------|
| 2018年9月27日 定時株主総会 | 普通株式 | 25,270 | 利益剰余金 | 10.00 | 2018年6月30日 | 2018年9月28日 |
| 2018年11月13日 取締役会 | 普通株式 | 13,898 | 利益剰余金 | 5.50 | 2018年9月30日 | 2018年12月10日 |
| 2019年2月8日 取締役会 | 普通株式 | 15,162 | 利益剰余金 | 6.00 | 2018年12月31日 | 2019年3月8日 |

2. 基準日が当第3四半期累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期会計期間の末日後となるもの

| (決議) | 株式の種類 | 配当金の総額 (千円) | 配当の原資 | 1株当たり 配当額 (円) | 基準日 | 効力発生日 |
|--------------------|-------|----------------|-------|---------------------|------------|------------|
| 2019年5月10日 取締役会 | 普通株式 | 15,162 | 利益剰余金 | 6.00 | 2019年3月31日 | 2019年6月10日 |

2. 株主資本の金額の著しい変動

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期累計期間(自 2017年7月1日 至 2018年3月31日)

当社は、戸建住宅事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

当第3四半期累計期間(自 2018年7月1日 至 2019年3月31日)

当社は、戸建住宅事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益及び算定上の基礎並びに潜在株式調整後1株当たり四半期純利益及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

| | 前第3四半期累計期間 (自 2017年7月1日 至 2018年3月31日) | 当第3四半期累計期間 (自 2018年7月1日 至 2019年3月31日) |
|---|---|---|
| (1) 1株当たり四半期純利益 | 62.09円 | 89.42円 |
| (算定上の基礎) | | |
| 四半期純利益(千円) | 156,907 | 225,963 |
| 普通株主に帰属しない金額(千円) | - | - |
| 普通株式に係る四半期純利益(千円) | 156,907 | 225,963 |
| 普通株式の期中平均株式数(株) | 2,527,000 | 2,527,000 |
| (2) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 | 62.05円 | 89.25円 |
| (算定上の基礎) | | |
| 普通株式増加数(株) | 1,817 | 4,737 |
| 希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益の算定に含めなかった潜在株式で、前事業年度末から重要な変動があったものの概要 | - | - |

(注) 当社は、2018年1月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

2018年11月13日開催の取締役会において、次のとおり剰余金の配当を行うことを決議いたしました。

- (1) 配当金の総額.....13,898千円
- (2) 1株当たりの金額.....5円50銭
- (3) 支払請求の効力発生日及び支払開始日.....2018年12月10日

(注) 2018年9月30日現在の株主名簿に記載又は記録された株主に対し、支払いを行います。

2019年2月8日開催の取締役会において、次のとおり剰余金の配当を行うことを決議いたしました。

- (1) 配当金の総額.....15,162千円
- (2) 1株当たりの金額.....6円00銭
- (3) 支払請求の効力発生日及び支払開始日.....2019年3月8日

(注) 2018年12月31日現在の株主名簿に記載又は記録された株主に対し、支払いを行います。

2019年5月10日開催の取締役会において、次のとおり剰余金の配当を行うことを決議いたしました。

- (1) 配当金の総額.....15,162千円
- (2) 1株当たりの金額.....6円00銭
- (3) 支払請求の効力発生日及び支払開始日.....2019年6月10日

(注) 2019年3月31日現在の株主名簿に記載又は記録された株主に対し、支払いを行います。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

2019年5月13日

株式会社 Lib Work
取締役会 御中

三優監査法人

指 定 社 員 公認会計士 大 神 匡 印
業 務 執 行 社 員

指 定 社 員 公認会計士 堤 剣吾 印
業 務 執 行 社 員

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社 Lib Workの2018年7月1日から2019年6月30日までの第22期事業年度の第3四半期会計期間（2019年1月1日から2019年3月31日まで）及び第3四半期累計期間（2018年7月1日から2019年3月31日まで）に係る四半期財務諸表、すなわち、四半期貸借対照表、四半期損益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表の作成基準に準拠して四半期財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社 Lib Workの2019年3月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. XBR Lデータは四半期レビューの対象には含まれていません。